

子どもの広場

【校内読書週間】



11月11～15日を校内読書週間とし、本に関する様々なイベントが企画され、お話の世界を楽しみました。図書委員会のイベントでは、図書館がいっぱいになるくらいの児童が集まり、読み聞かせや読書クイズを楽しみました。毎年恒例のおはようおはなしの会の皆さんによる「読書祭り」のブラックシアターは、「ブレーメンの音楽隊」が上演されました。真上がり、幻想的な雰囲気の中で物語を楽しみました。また、今回初の試みとして本校職員による読み聞かせ「お話バイキング」を行いました。これは、聞きたいお話のある教室を自分で選びますが、どの先生が読み聞かせをするのかは子どもたちにはわかりません。待っている間、どの先生なのかわくわくしていました。普段なかなか聞けない、男先生の洪い声での読み聞かせや低学年に優しく語りかける高学年の先生のお話など、絵本の魅力を再発見したイベントとなりました。

【後期児童総会】

11月12日に、後期児童総会を開催しました。後期からは、3年生も参加し、上学年と一緒に、よりよい学校づくりに、何ができるか考えました。各委員会か

ら具体的な活動についての報告があり、学校を楽しいものにするためのいろいろな工夫が発表されました。児童総会は、子どもに自治の意識や力をつける大切な取り組みの一つです。この会を受けて、全校児童が心を合わせて、よりよい附属小学校づくりに、努めたいと思います。

【造形遊び】

11月18日、全校一斉造形遊びを行いました。これは図工の学習の一つで、友達と共同して活動し、素材や場所などの環境をいかにしながらダイナミックなものをづくりの楽しさを全校で味わおうという活動です。今年度は、体育館やランチルームの改装工事と重なって、活動内容や場所を昨年と変更した学年がありましたが、友達と話し合いながら、活発に活動する姿が見られました。

外で活動する学年は、あいにくの強風と雨模様で、飾ったり遊んだりする時間がとても短くなってしまう予定でしたが、予定の活動を協力して行うことができたので、力で行うことができたので、みんなでものづくりをする楽しさを味わうことができました。



【校内マラソン大会】

本校は11月にマラソン週間を設け、昨年の記録や体育の時間に測った記録の更新を目標に練習をしてきました。今年度は悪天候のため、十分な練習時間が取れませんでした。子どもたちは体育の時間や家庭で練習を続けていました。また、運動委員会の声かけにより、天気のよい休憩時には多くの子どもたちが校庭を走り、練習を重ねていました。

マラソン大会終了後は、「普段から練習を続けて、来年はもっとがんばりたい。」という子もいました。来年もさらに記録が伸びることを期待したいと思います。



【フショ1グランプリ】

11月25日に、運営委員会企画、進行のもと、フショ1グランプリを開催しました。これは、自分の特技など、学校ではなかなか発表の機会のない隠れた技を自主的に披露する大会です。毎年、1年生から6年生まで多くの子どもたちが参加します。情熱的なダンスを披露したり、コントで観客を笑わせたりなど、様々な隠し芸で、いつもとはひと味違った姿を見せてくれる時間でもあります。

今年も手品、ダンス、漫才、なんわとび、ピアノ演奏などたくさんの方の芸が披露されました。会場の創造活動室Ⅱは観客の子どもたちで溢れ、芸が披露されるたびに、歓声があがりました。



ものに感謝

仙田 真帆

最近気になる人に、「こんまり」こと近藤麻理恵さんという方がいらつしやいます。近藤さんは「片づけ」の名人で、その片づけ方法が、テレビや本で取り上げられています。一体どんなすごい片づけ術なのだろうと興味をひかれ、私も本を手にとってみることにしました。

ところが、「さあ、これで私も片づけ名人に・・・」と意気込んでいた私の目に飛び込んできたのは、片づけ術以上に、「ものを捨てるときに、ありがたうと言おう」という言葉の方でした。捨てるものは、使えなくなるまで自分のために活躍してくれたもの。がんばってくれたものたちに感謝する…。そんな風に考えると、家や部屋の中に置いてあるものに愛着がわいてくるような気がします。「もっと大切にしたいなあ、きちんと整頓しておこう」と、やる気も芽ばえてきました。

今年の年末は、一人でブツブツと「ありがたう」をつぶやきながら、せっせと大そうじにはげむ予定の私です。



